研究課題：Ras/MAPK 障害における骨関節臨床所見

1．　**研究の目的**

Ras-induced mitogen active protein kinase (MAPK)カスケードの異常により骨関節障害が生します。RAS/MAPK 障害によって引き起こされる疾患はコステロ症候群、ヌーナン症候群、レオパード症候群、Cardio-facio-cutaneous syndrome(CFC 症候群)がありますが、各症候群に起こりうる骨関節障害を比較した報告は少ないです。

本研究の目的は症候群別に骨関節障害を比較し、共通点と相違点を明らかにすることです。

2．　**研究の方法**

２０００年１月１日から２０２２年４月１日までにコステロ症候群、ヌーナン症候群、レオパード症候群、CFC 症候群と診断された患者様が対象となります。

3．　**研究期間**

2022 年 05 月（倫理委員会で承認を得られた日）から 2024 年１月３１日まで。

4．　**研究に用いる資料・情報の種類**

診療録から、当院での画像所見、骨成熟度、手術の有無などの情報を調べまとめます。

5．　**外部への資料・情報の提供、研究成果の公表**

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6．　**研究組織**

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構　埼玉県立小児医療センター
研究責任者：所属　整形外科　　職　科長　　　氏名　平良勝章
研究分担者：所属　整形外科　　職　医員　　　氏名　町田真理

７. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、２０２２年９月３０日にまで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）